



2019年11月13日

各位

会社名 株式会社ヒガシマル  
 代表者 代表取締役社長 東 勤  
 (コード番号 2058)  
 問合せ先 執行役員管理部長 田之畑 武  
 (TEL 099-273-3859)

2020年3月期第2四半期の業績予想と実績値との差異及び  
 通期の業績予想の修正に関するお知らせ

2019年5月14日に公表しました2020年3月期の第2四半期業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。また、最近の業績動向等を踏まえ、2020年3月期通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

## 1. 2020年3月期第2四半期業績予想と実績値との差異

2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績値との差異(2019年4月1日~2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,916	百万円 283	百万円 308	百万円 173	円 銭 44.64
実績値(B)	6,311	55	119	△0	△0.03
増減額(B-A)	△605	△228	△189	△173	
増減率(%)	△8.8	△80.5	△61.2	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	6,007	287	349	207	44.47

2020年3月期第2四半期(累計)個別業績予想と実績値との差異(2019年4月1日~2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期 純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,347	百万円 282	百万円 420	百万円 273	円 銭 70.56
実績値(B)	3,879	200	326	226	58.50
増減額(B-A)	△467	△81	△94	△46	
増減率(%)	△10.8	△29.0	△22.5	△17.1	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	3,522	198	368	250	53.63

## 2. 2020年3月期通期業績予想の修正

2020年3月期通期連結業績予想の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,203	409	458	240	62.02
今回修正予想 (B)	12,834	227	318	129	33.43
増減額(B-A)	△1,369	△182	△140	△110	
増減率(%)	△9.6	△44.5	△30.7	△46.1	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	12,232	294	431	262	57.94

2020年3月期通期個別業績予想の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,164	206	408	265	68.50
今回修正予想 (B)	7,356	209	403	274	70.75
増減額(B-A)	△807	3	△4	8	
増減率(%)	△9.9	1.5	△1.1	3.3	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	6,948	103	354	252	55.79

## 3. 業績予想と実績値との差異の理由

当第2四半期の連結業績につきましては、連結子会社において養殖事業における生産不調による出荷制限や在庫の評価減等もあり、業績が悪化したことから、前回予想値を下回る結果となりました。

個別業績につきましては、水産事業において、エビ養殖環境が例年と比べ水温が高く細菌感染等の被害の影響を受けるなどし、売上高は当初予想を下回りました。利益面では生産性向上への取り組みや経費削減に取り組んでまいりましたが、為替差損の発生などにより前回予想値を下回る結果となりました。

## 4. 通期の業績予想の修正の理由

売上高につきましては、子会社における養殖生産の現状を踏まえ下方修正いたしました。利益面では第2四半期までと同じく、生産性向上への取り組みや経費削減策等を引き続き継続してまいります。足元の養殖原価の上昇等を考慮し下方修正しました。

※上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上